

イヌマキの根洗い手順

1. 栽培中の病害虫防除

- 病害虫の発生を防止するため、定期的に殺虫剤や殺菌剤等の薬剤散布を行う。
- 病害虫の発生調査を行い、発生を確認した場合、適切に薬剤散布を行う。
- 病害虫の発生源となる枯れ枝・枯れ葉、雑草等を定期的に除去する。



薬剤散布



枯れ枝・枯れ葉の除去



雑草の除去

2. 堀上げ

- 堀上げ前に殺虫剤や殺菌剤等の薬剤散布を行う。
- ショベルカーやスコップ等を使い、根部の外周に沿って掘削する。
- 移動中の根部の損傷を防止するため、シートで包み、縄掛けする。
- 運搬車に積込み、根洗い場所に移動する。



根部の掘削



根部の損傷防止



運搬車への積込み

3. 土壌の除去

- 根部の土壌を落とし易くするため、根洗い作業前に1日程度、水に浸漬する。
- 水から取り出し、根洗い場所へ移動し、根巻きシートを外す。
- 低い水圧(注1)の水を大量に使用し、根部の土壌を落とす。
- 水は四方八方から掛け、土壌を洗い落とす。
- 土壌の塊がある場合(注2)、手で揉みほぐしながら洗い流す。

(注1) 高い水圧の使用は、根の表皮を剥いでしまい、根洗い後の吸水ができず、樹に枯死が生じる。

(注2) 根が交差している部分や股の部分、充分水が届かない部分に土壌が残っていることがあるので、細かく確認することが必要となる。見にくい部分には照明を当て、棒で掻き落としたり、手で触って確認しながら、丁寧に土壌を取り除く。



水に浸漬



根洗い(下部から)



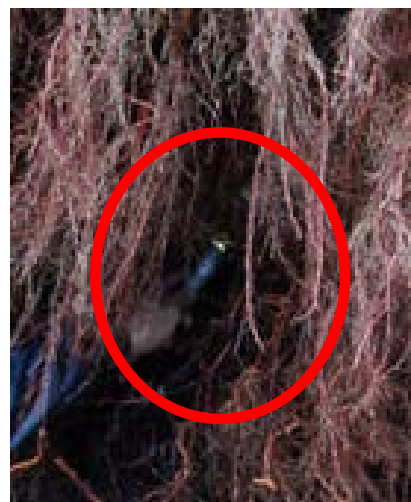
根洗い(上部から)



揉みほぐしながら除去



棒での掻き落とし



照明を当てて内部を確認

4. 根の保護

- 根洗い後、根部を包装用のポリフィルムでラッピングする。
- 根を保水するため、ラッピングしたポリフィルムの一部に穴をあけ、吸水させた未使用の水苔又はピートモスを根の隅々まで充填する。
- 水苔等を充填させた際に開けたポリフィルムの穴をテープで塞ぐ。
- ポリフィルムの上から、ネットと遮光資材で包み、縄を掛ける。



ポリフィルムでラッピング



水苔に吸水



吸水させた水苔



吸水させた水苔の充填



吸水させた水苔の充填



ネットで被覆



遮光資材で被覆し、縄掛け

5. 剪定

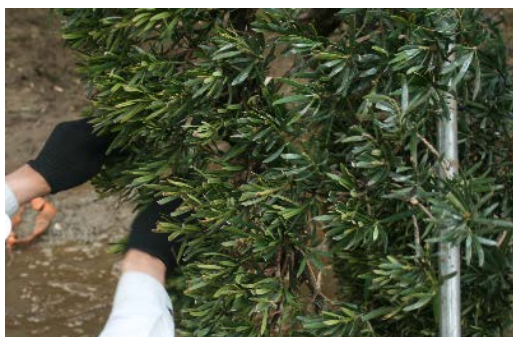
- 土壌を除去することによって吸水できず、樹の枯死率が高くなることから、地上部の水分蒸散を抑制するため、枝や葉を透かすように半分程度までハサミで切り詰める。
- 追加的な蒸散抑制剤（ワックス）の全面散布も蒸散抑制効果が高い。

剪定による枝・葉の減少

剪定前



剪定後



剪定作業



剪定により落ちた枝・葉

剪定による葉の減少

剪定前



剪定後



6. 輸出検査・輸出準備

- 植物防疫所による輸出検査の実施。
- 輸出用コンテナに積載するまでの間、乾燥による樹の枯死を防止するため、樹全体を遮光資材で被覆する又は遮光施設で管理するとともに、時々葉に散水する。



遮光資材での被覆



遮光施設での管理



葉への散水

7. 積み込み

- オープンコンテナの場合、直射光や風を避けるため、積み込み後に遮光資材で覆う。



オープンコンテナへの積み込み



遮光資材による被覆

根洗いしたイヌマキの植付け手順・養生

1. 植付け場所の準備

- 山砂や火山灰土等水はけが良い土を準備する。
- 植付け場所を客土・整地し、植付け穴を掘る。
- 植え付けるイヌマキを植付け場所に移動する。



山砂



植付け場所の準備



植付け場所に移動

2. 植付け樹の準備

- 植付け樹の根巻き資材を除く。
- 保水のために使用した水苔やピートモスを丁寧に除去する。

(注1) 細根は乾燥するため、新しい根を早期に発生させることが重要。

(注2) 太い側根の切断部分から、新しい根が発生しやすい。



根巻き資材の除去



水苔の除去



根内部の水苔も残さず除去



乾燥した細根（根洗後3週間）



切断部位からの発根

3. 定植

- 樹の向きを考慮し、株を据え付ける。
- 株元に土を掛け、水を注ぎ（水決め）、棒等で突きながら、根の間に漏れなく土を詰める。



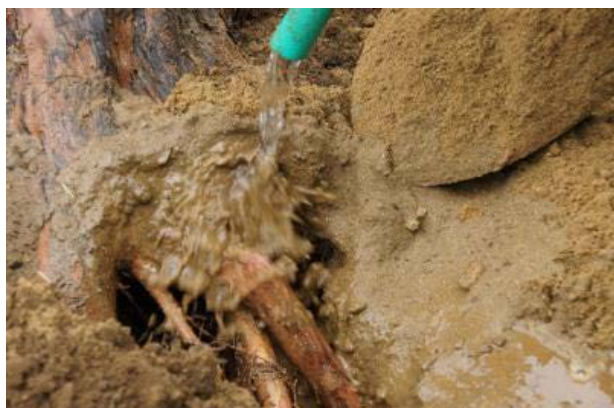
株の据付け



土の充填



水決め



水決め



棒等で突き、土を詰める



完成

4. 遮光・防風施設の設置

- 支柱を立て、紐で誘引し、定植株が倒れないように固定する。
- 定植後の葉からの水分蒸散を抑制するため、株の周囲を遮光資材で覆う。
- 長期間の降雨がなく、土が乾燥したときは、適宜灌水する。
- 肥料は定植直後に与えず、数ヶ月後に液体肥料を与える。



パイプや竹等で骨格を作り、遮光資材を展張

5. 遮光・防風施設の撤去

- 定植1ヶ月後を目処に遮光資材を外す。
(可能であれば、雨天や曇天が好ましい。)



遮光資材の内側



遮光資材の除去